

ご挨拶



代表取締役社長
矢橋 隆

これまで多くの関係者の方々や視聴者の皆様に弊社の事業に対するご支援、ご理解をいただきましたおかげと、心より感謝申し上げます。

平成25年6月27日に開催された株式会社放送衛星システムの株主総会と取締役会において代表取締役社長に選任され、就任いたしました。同時に、一部役員交代もあり、新しい役員体制でこの1年、弊社の経営を担ってまいります。

弊社は、平成25年4月に創立20周年を迎えました。この間、基幹放送局提供事業者としてBS放送を支え、その発展に寄与する一方、株式会社としての成熟や経営の安定化も、まだ道半ばの面もございますが、一定程度果たすことができました。そのような望ましい状況で、人間でいえば成年に達することができました。これもひとえに、

このような弊社の歴史の大きな節目を越えて、弊社および弊社の事業は、これから新しいステップに入ってまいります。まさにその初年に社長職を拝命し、経営のかじ取りを負託されたことに、身の引き締まる緊張感と責任感をかみしめております。

前社長、歴代社長のひそみにならい私も、新しいステップに入っても変わらぬ弊社の普遍的使命は、いつでも、どのような状況の中でもBS放送を視聴者の皆様に安定的にお届けすること、と考えております。そのために、弊社役員・社員はBS放送の“匠(たくみ)”として、絶えず専門技術・技量を磨き、日々訓練に訓練を重ねつつ、365日、24時間体制で業務に全力で当たっております。さらに加えて、想定外の大災害など非常時にもBS放送が安定的に継続し、人々のライフラインとしての役割を確実に果たせるよう、万全の体制構築に引き続き取り組んでまいります。

先ごろ、スーパーハイビジョンによる次世代の新しい放送に向けたロードマップが示され、官民一体となった推進体制も整備されました。BS放送はこれまで、技術面でもサービス面でも新しい放送の先駆的な役割を果たしてきた歴史があります。弊社には、そのBS放送を支えてきた過程で蓄積された、新しい放送サービスにかかわる専門技術・技量などの豊富な財産がある、と自負しております。これを社会に還元するためにも最大限活用し、スーパーハイビジョン放送の実現と推進に寄与していくことが、新しいステップに入った弊社に課せられた新しい使命と考えております。関係者の方々のご理解を得ながら、是非、その道筋をつくっていきたいと考えております。

関係者の方々、視聴者の皆様の変わらぬご支援、ご理解をお願い申し上げます。